

平成 16 年 3 月 11 日

～人・交流・にぎわい商工都市を目指して～

新たな「豊島区産業振興計画」を策定

豊島区は、区の行財政を取り巻く社会経済の変化や区内の産業動向を踏まえて、平成 9 年 3 月に策定した豊島区産業振興計画を改定し、平成 16 年度を初年度とした新たな 10 ヶ年計画「豊島区産業振興計画」を策定した。

新たな「産業振興計画」を策定するにあたり、「区商業実態調査」（平成 13 年 7 月）、「区中小企業実態調査」（平成 14 年 3 月）、「区産業振興計画策定調査」（平成 15 年 3 月）、「産業振興調査」（平成 15 年 7 月概要・平成 16 年 2 月報告）を行った。これらの調査結果をもとに、平成 15 年 5 月「産業振興計画策定委員会」（学識経験者、商工団体関係者等 17 名）を設置し、区の産業振興の方向性・重点施策を検討し、10 月 29 日計画の素案がまとめられた。これを受け、昨年末に区報やホームページで公開し区民からの意見を募集、それらを踏まえ素案を修正、2 月 27 日の本案答申を受け、策定された。

長引く景気低迷の中で、区内の事業所数はこの 10 年で 20%、約 5,200 個所も減少し、業種別事業所数の 41.1%を占める「卸売・小売・飲食業」数も減少傾向にある。これらの中小商工業や、区内の製造業の半数を占める印刷・出版関係業の再生・活性化が、産業振興の大きな目標となってくる。そのために、個別事業所、事業者、商店街など地域での取り組みを支援し、NPO 等の多様な主体との協働を進めていこうという考えにたって策定した。

「産業振興計画」は、活力に満ちた地域社会を実現するため「人・交流・にぎわい商工都市の形成」を目標に、以下の 4 つの基本方針のもと 11 施策 38 事業の展開を提起した。（別紙参照）

また、方針ごとに、計画の前期終了時（平成 20 年度）の達成目標として、商業拠点の年間販売額…現状維持、繁華街への休日の来街者数…10%増など、具体的な数値を「目標指標」として設定した。

●計画の基本方針

1. にぎわい魅力産業都市の形成
2. コミュニティ産業都市の形成
3. 起業推進都市の形成
4. いきいき産業都市の形成

区は新たな計画に基づき、今後順次事業化を図っていく。特に産業振興を活性化させるための起爆剤として以下の事業に重点を置き、平成 16 年度予算に盛り込んだ。

1. 巣鴨・大塚地区中心市街地基本計画策定事業

「おばあちゃん原宿」として親しまれる巣鴨地蔵通り商店街は、来街者が多いにもかかわらず大型観光バス等の駐車場が不足しているため、商店街周辺の公有地などを利用し、不足する集客施設整備と地区全体のルート整備などを進める。

大塚駅周辺では、平成 19 年完成予定の南北自由通路整備にともない駅舎の改修、駅前広場の改善が想定される。老朽建物の整備など商店街更新整備計画づくりを支援する。

平成 16 年度は、周辺区民・来街者の意識調査等を実施し、中心市街地整備事業の基本計画を策定する。

○平成 16 年度予算額…… 10,430 千円

2. 副都心池袋の活性化

副都心池袋を商工振興の顔として活性化させ、にぎわいの中にも落ち着きのある都市環境を作り出すため、商店街の外観の統一を進めるとともに、買い物、食事など来街者を惹き付ける魅力店舗の誘致を支援する。また、クレジットカード等を活用し商業基盤の整備と集客力の向上を図る。

具体的には、商店街景観創造事業、副都心魅力店舗出店支援事業、商業振興クレジットカード推進事業、などを重点事業として行う。

○平成 16 年度予算額 ……	商店街景観創造事業	9,497 千円
	副都心魅力店舗出店支援事業	7,766 千円
	商業振興クレジットカード推進事業	2,000 千円

3. 中小商工業融資の充実

長引く景気低迷の中で、厳しい経営状況にある中小企業を支援し経営の安定化を図るため、長期資金（10 年）を創設するなど中小商工業融資を充実させる。

また、学識経験者、金融機関代表、経済団体代表をメンバーとする検討会を設置し、融資限度額や貸付期間を含め、中小企業にとって有効な融資の種別、利率、利子補給のあり方等、融資制度、内容を検討し事業に反映させる。

○平成 16 年度予算額 …… 20,286 千円

詳細：生活産業課長